

atama + 学習のポイント ノートをとって勉強しよう

Point

atama + 学習のときのノートのとりかた

先生からのアドバイスを聞いたり、自分なりの工夫をしたりしながら進めてみましょう。

演習

演習のタイトル

3つの分数のたし算・ひき算

日付

2022 / 1 / 7

ポイント

問題

$$1 \quad \frac{1}{5} + \frac{1}{6} - \frac{2}{3}$$

$$= \frac{1}{5} + \frac{1}{6} - \frac{2}{3}$$

$$= \frac{3 \times 1}{3 \times 5} + \frac{3 \times 1}{3 \times 6} - \frac{2 \times 2}{3 \times 6}$$

$$= \frac{3}{15} + \frac{2}{10} - \frac{4}{10}$$

$$= \frac{2}{15}$$

2 $\frac{10}{7} - \frac{1}{3} - \frac{1}{6}$

$$= \frac{20}{14} - \frac{10}{42} - \frac{7}{42}$$

$$= \frac{51}{42} = \frac{17}{14} = 1\frac{3}{14}$$

3 $2\frac{1}{3} + \frac{4}{5} + \frac{1}{2}$

$$= \frac{7}{3} + \frac{4}{5} + \frac{1}{2} = 2\frac{2}{3} + \frac{4}{5} + \frac{1}{2}$$

$$= \frac{14}{6} + \frac{4}{5} + \frac{3}{6} = 2\frac{14}{6} + \frac{4}{5}$$

$$= \frac{17}{6} = 2\frac{5}{6}$$

問題と計算のかたい

解説

$$2\frac{1}{3} + \frac{4}{5} + \frac{1}{2}$$

$$= 2\frac{2}{6} + \frac{8}{6} + \frac{3}{6}$$

$$= 2\frac{10}{6} + \frac{3}{6}$$

$$= 2\frac{13}{6}$$

$$= 4\frac{1}{6} (= \frac{25}{6})$$

最後に約分ができていない場合は、約分する。

通分は、それぞれの分母の公倍数を、共通の分母にする。

講義

動画のタイトル

3つの分数のたし算・ひき算

日付

2022 / 1 / 7

ポイント

3つの分数で、分母が同じ時

$$\frac{4}{9} + \frac{5}{9} - \frac{2}{9} = \frac{4+5-2}{9} = \frac{7}{9}$$

① 分母がそろっている場合、分子のみ計算します。
4+5-2をします。

3つの分数で、分母が異なる時

$$\frac{1}{2} + \frac{1}{4} + \frac{1}{3} = \frac{1 \times 6}{2 \times 6} + \frac{1 \times 3}{4 \times 3} + \frac{1 \times 2}{3 \times 2} = \frac{6+3+2}{18} = \frac{11}{18}$$

① 分母がそろっていない場合は、通分して分母をそろえます。
2と4と3の最小公倍数は18なので、分母は18にします。

② 分母がそろっていない場合、分子の計算も通分してします。
7+2+6をします。

3つの分数のたし算・ひき算
3つの分数で分母が同じとき

$$\frac{4}{9} + \frac{5}{9} - \frac{2}{9} = \frac{4+5-2}{9} = \frac{7}{9}$$


① 分母がそろっている場合、分子のみ計算しよう
4+5-2をします

整数部
2+3-2

分数部
10/15 - 3/15

講義内容

【問題を解くとき】

- 問題番号、問題式を書き写す
(グラフ、図形問題はノートに写すか、書き込み機能  を活用する)
- 途中式は省略しないで丁寧に書く
(ひっ算は右のスペースを使う)

【答え合わせのとき】

- 赤ペンで○×を必ずつける
- 間違えた問題はノートと解説を見比べ、間違えたところを赤ペンでノートに書き写す

【ノートをとる前に】

- 講義動画のタイトル、日付を書く

【講義内容について】

- 「公式」「法則」「ルール」はノートに写す
- 重要なポイントをノートに書き込む
- ※ 色ペンを使ったり、四角で囲うと良い

atama + 学習のポイント ノートをとって勉強しよう

Point

atama + 学習のときのノートのとりかた 〈数学〉

先生からのアドバイスを聞いたり、自分なりの工夫をしたりしながら進めてみましょう。

演習

演習のタイトル 日付 2022. 2. 21

加減 ポイント

練習問題

(1) $(-3) + (-2)$
 $= -3 - 2$
 $= -5$

(2) $(+1.1) + (-3.2)$
 $= 1.1 - 3.2$
 $= -2.1$

(3) $(+\frac{1}{2}) + (-\frac{2}{5})$
 $= (+\frac{5}{10}) + (-\frac{4}{10})$
 $= (+\frac{5}{10}) + (\frac{-4}{10})$
 $= \frac{5}{10}$
 $(+\frac{1}{2}) + (-\frac{2}{5})$
 $= (+\frac{5}{10}) + (\frac{-4}{10})$
 $= \frac{5}{10} - \frac{4}{10}$
 $= \frac{1}{10}$

(4) $(-\frac{1}{2}) + (-1.5)$
 $= (-\frac{1}{2}) + (-\frac{3}{2})$
 $= 0$

分母が異なる分数を計算するときは、分母を揃える
 文字をよけて書くこと
 間違える!!

問題と計算過程

加減 - 講義

解説

$$\left(+\frac{3}{2}\right) + \left(-\frac{2}{5}\right)$$

$$= \left(+\frac{15}{10}\right) + \left(-\frac{4}{10}\right)$$

$$= \frac{15}{10} - \frac{4}{10}$$

$$= \frac{15-4}{10}$$

$$= \frac{11}{10}$$

講義

動画のタイトル 日付 2022. 2. 21

加減と減法のまとめ ポイント

加法(たし算)

$$(+1) + (+2) = + (1+2) = +3$$

$$(-1) + (-2) = - (1+2) = -3$$

$$(-1) + (+2) = + (2-1) = +1$$

減法(ひき算)

$$(+1) - (+2) = (+1) + (-2) = -1$$

$$(-1) - (-2) = (-1) + (+2) = +1$$

$$\{(-1) + (-2)\} + (-3) = (-1) - (2+3) = -6$$

加法と減法の計算

$$5 - 2 + 1 - 7 + 9 = 2 + 1 - 7 + 9$$

$$= 3 - 7 + 9$$

$$= -4 + 9$$

$$= 5$$

減法の計算

$$-(+2) = -2$$

$$-(-2) = +2$$


加法(たし算)の交換法則・結合法則

$$(-1) + (-2) = (-2) + (-1) = -3$$

$$\{(-1) + (-2)\} + (-3) = (-1) + \{(-2) + (-3)\} = -6$$

講義内容

【問題を解くとき】

- 問題番号、問題式を書き写す
(グラフ、図形問題はノートに写すか、書き込み機能  を活用する)
- 途中式は省略しないで丁寧に書く
(ひっ算は右のスペースを使う)

【答え合わせのとき】

- 赤ペンで○×を必ずつける
- 間違えた問題はノートと解説を見比べ、間違えた個所を赤ペンでノートに書き写す

【ノートをとる前に】

- 講義動画のタイトル、日付を書く

【講義内容について】

- 「公式」「法則」「ルール」はノートに写す
- 重要なポイントをノートに書き込む
- ※ 色ペンを使ったり、四角で囲うと良い

Point

atama + 学習のときのノートのとりかた 〈英語〉

先生からのアドバイスを聞いたり、自分なりの工夫をしたりしながら進めてみましょう。

演習

<p>演習のタイトル</p> <p>一般動詞の文 (Sが複数形)</p> <p>日付 2022 / 7</p> <p>単語 単語</p> <p>問1 <u>Do</u> you eat yogurt at breakfast.</p> <p>→元の文のSは「あなたたち(あなたたち)」なので Youとなり、Vはeat。疑問文にSとVをえりて</p> <p>Do you eat yogurt at breakfast?</p> <p>×なる。</p> <p>問2 You <u>do not</u> swim in the pool.</p> <p>→この文のSはあなたたちなので Youとなり、Vはswim。</p> <p>You do not swim in the pool</p> <p>×なる。</p> <p>この文のS(主語)は「あなたたち、なのでYouとなり、V(動詞)はswimである。例文とおきかえて考えると、You <u>cannot</u> swim in the pool. が正しい文であるわかる。</p>	<p>break fast(名)朝食</p> <p>swim(動)泳ぐ</p>
回答	

講義

<p>動画のタイトル</p> <p>一般動詞の文 (Sが複数形)</p> <p>日付 2022 / 7</p> <p>単語 単語</p> <p>まてい:</p> <ul style="list-style-type: none"> Sが複数形の時 肯定文は一般動詞の語尾にsはつかわず。 否定文は一般動詞の前に do not (短縮形don't)をつける。 疑問文は do + S + 原形に短縮形にdoを使う。 <p>例文> Sが複数形の時</p> <ul style="list-style-type: none"> You sing well. You do not sing well Do they study English Yes, they do. No, they don't. <p>講義内容</p>	<p>sing:(動)歌う</p>
<p>・Sが複数のとき、肯定文は一般動詞の語尾にsはつかない。否定文は一般動詞の前にdo not(短縮形don't)をつける。疑問文は、do+S+原形にする。返事にもdoを使う。</p>	

【問題を解くとき】

□必ず答えをノートに書いてから選択肢を選ぶ。(並び替え問題などでも、必ず全文をノートに各)

※英文を書くこと自体が、とても良い学習になる。

【答え合わせのとき】

- 赤ペンで○×を必ずつける
- 間違えた問題の英文・SVOC・間違えた理由を書き込む
- 調べた単語、先生に聞いた単語の意味・品詞を右のスペースに書き出す。

【ノートをとる前に】

□講義動画のタイトル、日付を書く

【講義内容について】

- 動画内の「ポイント」や「例文」をノートに写す
- 忘れていたポイント、覚えるべきポイントを切り出してまとめる。
- 調べた単語、先生に聞いた単語の意味・品詞を右のスペースに書き出す。

Point

atama + 学習のときのノートのとりかた 〈理科〉

先生からのアドバイスを聞いたり、自分なりの工夫をしたりしながら進めてみましょう。

演習

演習のタイトル

日付

演習: 化学変化と質量の思考問題

2 23

塩 20 cm³

0.4
H₂

4.8
Mg

Mg + 2HCl → MgCl₂ + H₂

(1) 4.8g

(2) Mg 7.2g 全2成分
20cm³ = 4.8g = x = 7.2g
x = 30 cm³

(3) 塩 50 cm³
20 cm³ = 0.4g = 50 × x
x = 10 g

ノート① ノート② ノート③

ノートは3分割にしましょう！
必要なもののみ記入！！

【問題を解くとき】

- 問題番号、問題式を書き写す
(グラフ、図形問題はノートに写すか、書き込み機能 を活用する)
- 途中式は省略しないで丁寧に書く
- ノート①：選択肢を見る前に、答えを①に書く
- ノート②：選択肢に書いた答えがあればそれを選び、無いときは選択肢の中から答えを②に書く。
(ノート①に書けなかった場合も選択肢の中から答えを書く)
- ノート③：解説を見て丸付けをし、解説に知らないポイントがあったら③に書く。

【答え合わせのとき】

- 赤ペンで○×を必ずつける
- 間違えた問題はノートと解説を見比べ、間違えた箇所を赤ペンでノートに書き写す

講義

動画のタイトル

日付

講義: 化学変化と質量の思考問題 [発展]

2 23

例 79.0塩酸 20 cm³

石灰石	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	2.5	3.0
石灰粉	61.5	62.0	62.5	63.0	63.5	62.5	64.0
石灰性	61.3	61.6	61.9	62.2	62.7	62.7	63.2
CO ₂	0.2	0.4	0.6	0.8	0.8	0.8	0.8

石灰石 3.0g のとき
(2) 発生する CO₂ は → 表より 0.8g

練 | 塩酸 20 cm³

石	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
CO ₂	0.3	0.6	0.9	0.9	0.9

(1) 二酸化炭素
(2) 白く = 3
(3) 塩 20 cm³ と 過不足なく反応 石灰石
(4) 石 4.5g のとき 全2成分にだけ塩

HCl 20 cm³ 21.5 → 20 × 1.1
石 3.0g 4.5g
CO₂ 0.9g

別解 塩 : 石 塩 : 石
20 cm³ : 2.0g = x : 4.5g

図・表は簡単に書く！

講義中の例・練習問題は
ノートに書いて解く！

【ノートをとる前に】

- 講義動画のタイトル、日付を書く

【講義内容について】

- 「公式」「法則」「ルール」はノートに写す
- 重要なポイントをノートに書き込む
(色ペンを使ったり、四角で囲うと良い)
- ★計算単元の場合
- 例題をノートに解く → 「わかった」を実感
(映像を見ながらでOK！)
- 練習問題をノートに解く → 「できた」を実感
(何も見ずにチャレンジしよう！)
- ★暗記単元の場合
- 新しく知った・忘れていた語句のみ記入

Point

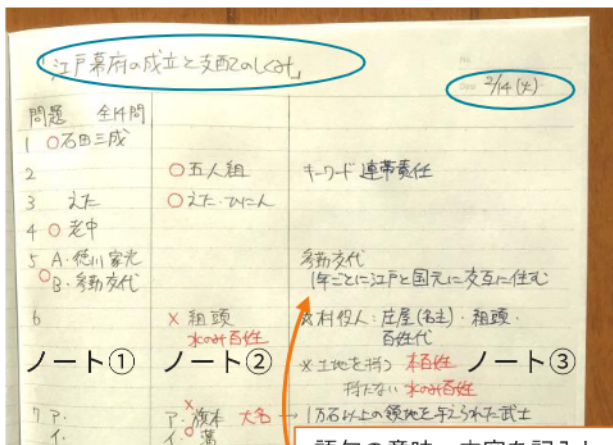
atama + 学習のときのノートのとりかた 〈社会〉

先生からのアドバイスを聞いたり、自分なりの工夫をしたりしながら進めてみましょう。

演習

演習のタイトル

日付

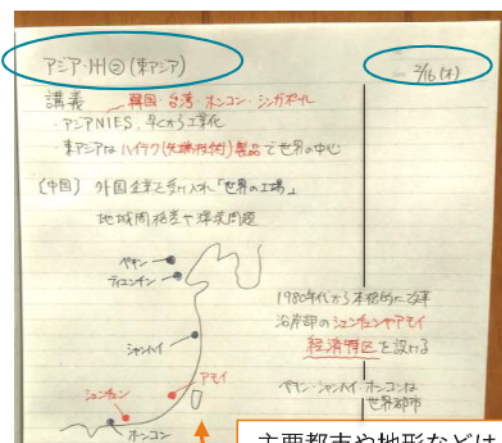


語句の意味・内容を記入したり、間違えやすい用語を整理しておく。
色ペンを使用して、重要語句は目立つように記入する。

講義

動画のタイトル

日付



主要都市や地形などは略図を書くと、位置関係が理解できて得点につながる。

【問題を解くとき】

- 問題番号、問題式を書き写す
(グラフ、図形問題はノートに写すか、書き込み機能を活用する)
- 途中式は省略しないで丁寧に書く
- ノート①：選択肢を見る前に、答えを①に書く
- ノート②：選択肢に書いた答えがあればそれを選び、無いときは選択肢の中から答えを②に書く。
(ノート①に書けなかった場合も選択肢の中から答えを書く)
- ノート③：解説を見て丸付けをし、解説に知らないポイントがあったら③に書く。

【答え合わせのとき】

- 赤ペンで○×を必ずつける
- 間違えた問題はノートと解説を見比べ、間違えた個所を赤ペンでノートに書き写す

【ノートをとる前に】

- 講義動画のタイトル、日付を書く。
- 未学習單元については、ノートをしっかりとる。学校で学習済みやatama+で講義を一度以上学習済みの單元は、メモ程度でOK。

【講義内容について】

- 「地理」は略図でよいので記入する。
(時間をかけすぎない)
- 「歴史」「公民」は問題を解くことに時間をかける。
間違えやすい漢字はメモを残しておく。
(地租×改正→地租○改正 など)